

第11回 美浜町まち・ひと・しごと創生推進協議会 議事録

日時 令和6年3月21日(木) 午後1時30分～

場所 町長応接室

出席者	町長	藪内 美和子
	副町長	石塚 和夫
	美浜町商工会	橋本 健治
	紀陽銀行	柿谷 真樹人
	きのくに信用金庫	山本 高達
	紀州農業協同組合	椎崎 智也
	和歌山県立日高高等学校	山本 直樹
	日高新報	柏木 智次
	紀州新聞社	藤本 亜矢子
	防災まちづくりみらい課長	北村 卓也
	事務局	田中 敦之

1.会長(町長)挨拶

2.事務局より資料1の説明(第2次美浜創生総合戦略進捗報告)

質問・指摘

【紀陽銀行 柿谷氏】

Q:和歌山大学、京都外国語大学との交流は岩永氏の活動と関係があるか。

A:(田中) この2校については岩永氏とは少し離れた活動。

令和6年度の東京大学FSプログラムにはご協力いただいている。

Q:自治体としてどのようなサポートをしているのか。

A:(田中) 宿泊場所、食事、町内での移動などの手配、課題解決へのサポートを

大学からの委託を受け、NPO法人日ノ岬・アメリカ村と協力して、学生さんのフィールドワークへの全面的なサポートを行なっている。

Q:カナダ移民の歴史について、盛り上がりはあるのか。

A:(田中) 大学の研究者で興味を持っていただいている方が多い。

来年度の5月に、カナダから研究者含めた方がお越しいただき、シンポジウムを開催する予定。またその次の週に、三尾出身の学長がいるノースアイランドカレッジからも14名来町予定。人の繋がりや経済的な面についても盛り上がりがある。

Q:トランスフォーマーな気運もあり、岩永さんという移民史を研究されている方も現れてきている中、そういう人に町として何かサポートをしてもらえたらと思う。

また、AIRというアニメの聖地となっているようだが、そういう部分へのターゲットングをしていくのはどうか。

A:(田中) AIRについては、以前公式マップの発行も検討したことがある。

今後も町長と調整しながら進めていけたらと考えている。

【きのくに信用金庫 山本氏】

Q:移住定住はどのような方が来ているのか。

A:(田中) 釣り好きや、煙樹ヶ浜を目的とした定年退職前後のIターンの方が多。

海がない奈良県の方が多。

Q:若者が出て行くのを防ぐための対策、発信などの仕組み作りが弱いのではないか。

A:(田中) 雇用の創出は、起業以外では大企業の誘致ができていないということもあり厳しい状況。魅力のある仕事が町にあれば地元の人も戻ってくるという話は多く聞く。

Q:美浜町内だけの雇用で考えるのではなく、和歌山県内での雇用と考え、美浜町に住んでいる人が和歌山県内で働いている場合はそれに対して何か手当（通勤手当など）をつけるのはどうか。移住定住に力を入れていただきたい。

3.事務局より資料2-1、2-2の説明（吉原、三尾のプロジェクト進捗報告）

質問・指摘

【紀州新聞社 藤本氏】

Q:シェアキッチンの実績はどうか。

A:（山口）経営は合計10店舗。継続で利用されている方は3店舗。

Q:同じ店舗ばかりだと他の人が借りれないのではないか。

A:（山口）事業者だけでなく、一般の方も利用してた抱けるような仕組み作りを進めていけたらと考えている。

【きのくに信用金庫 山本氏】

Q:ふるさと納税の使い道について

A:（籾内）返礼品に充てていたり、教育資金などのために貯金中。現在7億ほど積み立てている。町の貯金も20億となったので、これから何かをしていければと考えている。

Q:町独自の返礼品を作っていくべきではないか。

第1次産業ではなくソフト面で、例えば古民家への宿泊券やカナダ移民の歴史を活用した何かをしていくと認知度も含めた相乗効果ができるのではないか。

A:（田中）現在も一部体験型の返礼品があるが、多くの人は返礼品を購入するような仕組みとなっているのが現状。

4.その他

【紀州新聞社 藤本氏】

Q:観光客の増加は何が要因となっているか。

A:（田中）コロナ開けによるのではないかと考えている。

キャンプ場をメインに投稿しているSNSアカウントもできたので、これからも発信していこうと考えている。

【きのくに信用金庫 山本氏】

Q:煙樹海岸は占用できないのか。そこをもっと改築していくのはどうか。

A:（籾内・田中）静かで自然な状況を気に入っている方も居るので、今年度の通年営業の経験から来年度も考えていく。

【紀陽銀行 柿谷氏】

Q:美浜町が選ばれるためには何か特徴が必要ではないか。地域特性を考えながらターゲットングをしていく必要があるのではないか。

カナダ移民の歴史などの歴史は他の市町村にもあるだろうから、何かベンチマークとなる市町村を参考にしながら進めていかないか。

また、カナダとの姉妹都市締結も検討するのはどうか。

地域のマイナーな歴史については、マニアヘターゲットングしていくのはどうか。

A:（田中）マニアという点では、「フレネルレンズ」は非常に人気があるので、発信していければと思う。

Q:どこかの企業とコラボし、他のキャンプ場とは違う部分を見せていくのはどうか。

【美浜町商工会 橋本氏】

Q:美浜だけにこだわらず、日高郡全域で盛り上がっていかれば良いのではないか。